

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	企業等との連携による児童生徒の体力アップ支援の充実 (「体力アップひょうご」サポート事業)				部(局)	教育委員会事務局				
					所管課	体育保健課				
					担当班	学校体育班				
					連絡先	078-362-3787				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等	第3期ひょうご教育創造プラン					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(各教育事務所へ令達)				実施主体等	兵庫県教育委員会 市町組合教育委員会				
事業目的	児童生徒の体力・運動能力の向上のため、体力・運動能力について調査・分析を実施し、専門性に優れた地域の指導者等を積極的に活用することで、児童生徒の運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着及び新体力テスト測定値の向上を図る。									
事業概要	(1) 体力アップサポート専門家会議の開催 (2) 体力アップサポーター派遣事業の実施 専門的な指導力を有する地域のアスリートや関係団体指導者、公立中・高等学校保健体育科教員等を小学校に派遣 (3) 体力アップスクール表彰 体力向上の成果があった公立小・中学校(10校程度)を優秀校として表彰 (4) 兵庫県児童生徒体力・運動能力調査の実施(4月～7月) 本県の上記調査を実施し、年度ごとに小学生、中学生及び高校生の体力・運動能力を分析 (5) 体育実技指導力向上事業の開催									
これまでの改善状況	令和元年度 新体力テストの測定支援等を行う体力アップアドバイザーをモデル校の小学校へ派遣する「体力アップアドバイザー派遣事業」を本事業に追加し、別事業として試験的に実施 令和2年度 「体力アップアドバイザー派遣事業」を本格実施 令和2年度～ 測定方法のコツや留意点等を示した新体力テスト測定マニュアルの活用 令和3年度～ 「体力アップひょうご」サポート事業に「体力アップアドバイザー派遣事業」を統合 令和4年度～ 子どもの運動・スポーツ離れが課題と示されたため、「運動・スポーツ好きの子どもを増やすことで体力向上をめざす」ため、事業内容の見直し ・児童・生徒の課題に応じた授業充実を図るための地域人材の派遣体制の整備 ・小学校から高等学校までの学習内容の円滑な接続を目指した校種間の連携を図る人材を派遣 ・新体力テストの記録向上に向けた人材派遣対象校の条件緩和									
業務フロー	○体力アップサポーター派遣 市町組合教育委員会への実施希望調査(3月) → 実施決定(4月) → 事業実施 → 事業報告(翌年3月) ○体力テスト実施校 市町組合教育委員会へ調査依頼(4月) → 事業実施 → 事業報告(7月) ○体力アップスクール表彰、専門家会議、指導力向上事業、派遣校の視察・意見聴取は本課で実施									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		5,789千円		6,191千円		5,196千円		4,462千円	
	経費内訳	報酬・賃金	1,675千円							
		委託料			935千円		980千円		220千円	
		補助金・交付金								
		貸付金								
		その他	4,114千円		5,256千円		4,216千円		4,242千円	
	(財源内訳)	(国庫)								
		(特定)								
		(起債)								
		(一般財源)	(5,789千円)		(6,191千円)		(5,196千円)		(4,462千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,789千円		6,191千円		5,196千円		4,462千円	
	執行率((①/②)×100)		74.3%		100.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			830千円		823千円		862千円		862千円	
職員給与費	a	719千円		710千円		751千円		750千円		
賞与引当金繰入額	b	58千円		57千円		58千円		57千円		
退職手当引当金繰入額	c	53千円		55千円		53千円		55千円		
総コスト(①+③)		6,619千円		7,014千円		6,058千円		5,324千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

	指標名	区 分	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 目標	最終目標 【年度】
評 価	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	37.0%	37.0%	38.0%	39.0%	
		実績(見込)	中止	29.5%	30.0%	(39.0%)	
	新体力テスト総合評価(A+B)の割合 (小学校)	(単位当たりコスト)	--	(23,775千円)	(20,193千円)	(13,651千円)	
		達成率(見込)	--	79.7%	(78.9%)	(100.0%)	
		成果指標(アウトカム指標②)	目 標	45.0%	46.0%	47.0%	48.0%
		実績(見込)	中止	38.0%	36.3%	(48.0%)	
	新体力テスト総合評価(A+B)の割合 (中学校)	(単位当たりコスト)	--	(18,457千円)	(16,689千円)	(11,092千円)	
		達成率(見込)	--	82.6%	(77.2%)	(100.0%)	
		成果指標(アウトカム指標③)	目 標	56.0%	57.0%	58.0%	60.0%
		実績(見込)	中止	54.4%	56.2%	(60.0%)	
	新体力テスト総合評価(A+B)の割合(高校)	(単位当たりコスト)	--	(12,892千円)	(10,779千円)	(8,873千円)	
		達成率(見込)	--	95.4%	(96.9%)	(100.0%)	
活動指標(アウトプット指標①)		目 標	70	69	58	57	570
	実績(見込)	58	73	67	(57)	【令和4～R13年度】	
指 標	体カアップサポーター派遣校数	(単位当たりコスト)	(114千円)	(96千円)	(90千円)	(93千円)	
		達成率(見込)	82.9%	105.8%	(115.5%)	(100.0%)	
		活動指標(アウトプット指標②)	目 標				
	実績(見込)						
指 標	活動指標(アウトプット指標③)	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
		活動指標(アウトプット指標③)	目 標				
	実績(見込)						
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--		
標	終期設定	有 ( ) ・ 無					
	改善基準	新体力テスト総合評価(A+B)の割合が各校種のうち1つでも3年連続で前年度実績を下回った場合に見直しを検討					
自 己 評 価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>	<p>専門的な指導力を有する人材を学校へ派遣することで、児童の運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着及び新体力テスト測定値向上を図るために本事業は有効である。</p>		<p>令和3年度までは、「新体力テスト総合評価(A+B)の割合」が目標値に満たなかった。第2期スポーツ推進計画の中で子どもの運動・スポーツ離れが課題とされたため、令和4年度に人材派遣体制等事業の見直しを行い、令和5年度も引続き実施している。</p>			
評 価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	<p>説明</p> <p>小学校への派遣サポーターについては、県内の中学校、高校の体育教員や地域の外部指導者を活用しているため、専門的な指導方法や研究手法に限界がある。                  今後は、限られたコストの中で効率的・効果的に子どもの体力・運動能力を向上させるため、専門的な知識やノウハウを有した、実業団及びアスリートの学校派遣等、公民連携による実施手法も検討する。</p>						
意 外 部 委 員 会 見 会	<p>・体を動かして楽しかったという体験を持たせるなど、運動に対する内発的な動機づけが重要である。</p> <p>・現場の先生との間で、新体力テストの総合評価の目標値などの目標指標と、それを達成するという意識を共有すべきである。</p> <p>・教員に対し何をすると生徒の成績があがるか、動画等も活用し研修すべき。</p> <p>・生徒に対しても具体的な目標を示すべき。</p>						
改善結果							
<p>内発的動機付けの促進と目標達成時の充実感を醸成するため、以下の取組を実施。</p> <p>○体力アップ実践研究モデル事業</p> <p>①新体力テストの個別課題に関する実践研究(本県の課題に特化したプログラムの実践)</p> <p>②ICTを活用した授業改善に関する実践研究</p> <p>○「体力アップスクール表彰」対象校の拡充</p> <p>学校にて体育・スポーツ活動の積極的かつ特色ある優れた実践を行っている学校を表彰。 表彰校を拡充し、表彰式の充実を図る。</p>							